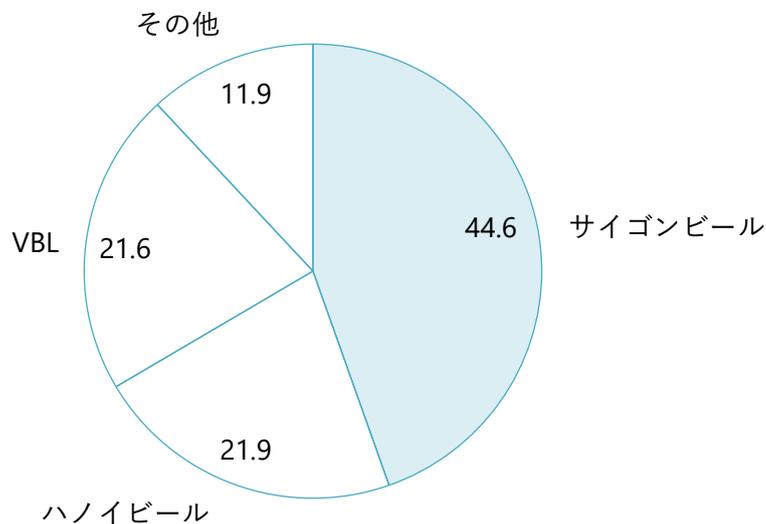


白熱するベトナムのビール市場

ビールは世界的に最も好まれるアルコール飲料である。ベトナムも例外ではなく、ビールはアルコール市場の約97%の売り上げを占める巨大市場となっている。2012年にベトナム人は7,700億円（1ドル＝100円換算）をビールの消費に使い、30億ℓを消費したと見積もられている。

ベトナム人のビール好きは他国との比較でも顕著で、アジアの中でビール消費量は中国、日本に次いで第3位である。また、Business Monitor Internationalによると、ベトナムのビール市場は2012～2017年にかけて量ベースで年間8%、金額ベースで年間13%の成長が予想されている。

ベトナムのビール市場シェア（2012年、100%=2,832百万ℓ）



資料：ベトナム商工省

ベトナム国内のビール消費は主に国内企業からのサプライによって支えられており、消費量に対する輸入ビールが占める割合は低い。中小を含めると多くのビール生産会社が乱立しているベトナムビール業界だが、大手の3社に集約されており、サイゴンビール（シェア45%）、ハノイビール（同22%）、VBL（同22%）の3社で、市場シェアの89%を占めている。サイゴンビールはサイゴンエクスポート、ハノイビールはハノイビール、VBLはハイネケンなど、各社とも人気ブランドを抱えている。これら上位3社の生産能力は非常に大きく、年間生産能力はサイゴンビールが17億ℓ、ハノイビールが9億ℓ、VBLが8億ℓである。

以上のように、ベトナムのビール市場は非常に巨大なため、多くの外国企業がベトナム市場に注目しており、既にいくつかの企業が参入している。

外国企業の中で、注目株はサッポロホールディングス（以下サッポロ）と世界最大のビールメーカーである AB InBev の 2 社だ。サッポロは 2010 年に Vietnam National Tabaco と合併会社（サッポロの出資比率 65%）を設立し、ベトナム市場への参入を果たした。その後、2011 年に Long An 省に 4,000 万 ℓ の生産施設を建設したのを皮切りに、2015 年には年産 1 億 ℓ、2019 年には年産 1.5 億 ℓ の生産計画を立てている。短期間のうちに販売網の構築も手掛け、2012 年 4 月にはホーチミンなど南部を中心とした地域の酒類小売店、レストラン、ホテルなど 4,000 か所でサッポロ製品は扱われている。

サッポロ以上に積極的な活動を行っているのが世界最大のビール会社 AB InBev だ。2012 年半ばに年産 5,000 万 ℓ の生産能力を誇る International Beer を買収することにより、ベトナムのビール市場に参入した。この買収により、2013 年初頭には自社工場に対する 15 億円の投資許可が承認されるなど急速に生産規模を拡張している。

ベトナムのビール市場はこれらのグローバル企業の参入などにより、益々ホットなビール市場として期待できよう。